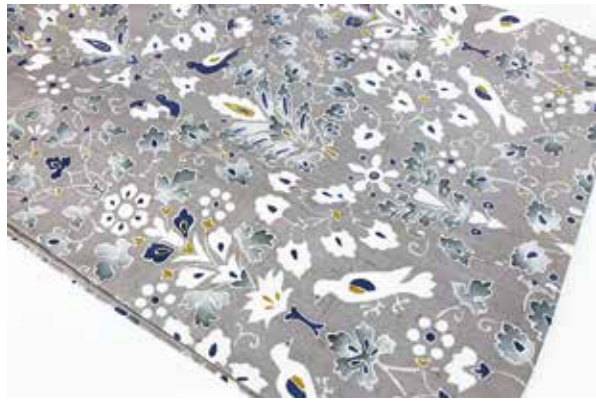


新入荷商品のご紹介



花鳥更紗 小紋
335500円
2020年冬号の美しいキモノに掲載柄の紬の小紋です。通常の小紋と違い柄が全部上を向いているので、付下げ感覚で着用できます。



かわちや好みの帯締め
14300円
14300円
9900円
帯締めを変えると同じ着物と帯でもがらりと雰囲気が変わります。気分一新新たなコーディネートをしてみては。



かわちや オリジナル草履
30000円
すっきりとした中にもおしゃれな鼻緒を配して都会的な印象的な足元に。



印伝 サラマス バッグ
82500円
着物の時にも、愛用できる印伝の2020年新作サラマス。フレンチやイタリアンにお出かけの際にコーディネートしてみたいかが。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2020年12月号

ごあいさつ



今年は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。気持ちよく外出が出来ずストレスがたまりましたが、来年はワクチンも開発され、いつも通り気持ちよく着物で出かけられる一年になることを心から祈っています。皆様、本年はお世話になりました。ありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします。

年末年始の連休 12月31日(木)
1月1日(金) 2日(土) 3日(日) 4日(月) 5日(火)

特集 藤娘きぬたやの絞り



絞りといえば皆さんもご存知のように、名古屋の有松鳴海絞りは日本でも有数の絞りの産地ですが、全国的にみると大分や熊本なども絞りの文化を見ることが出来ます。そして、意外にも京都も絞りの一大産地でもあります。京都は絞りだけではなく、友禅やその他の技法の陰に隠れてしまっていますが、京鹿の子絞りといえば、聞いたことのある方もいるのではないのでしょうか。有松・鳴海絞りと違いはというと、現代では色々入り混じっているのでわかりにくいところもあるのですが、技法的に言えば、絞る糸が木綿を使う有松鳴海絞りに比べて京鹿の子

絞りは絹糸を使って絞っていきます。精緻な鹿の子絞りは、どちらかというとも京都が本場なのかもしれません。名古屋に本社のある『きぬたや』さんは、有松鳴海絞ではなく、京鹿子絞りのメーカーさんで、多くの芸能人や有名人に愛用されています。名古屋にあるのに京鹿子絞りというややこしいメーカーですが、記憶に新しいところで行くと卓球の福原愛ちゃんが結婚会見で着ていた絞りもきぬたやさんの鹿の子絞りの振袖でした。特殊なもので、上の写真はそんなきぬたやさんが手がけた中でも、木目絞りという技法を使った訪問着で、きものを着用するシーンの変化により、礼装とカジュアルの境がいまになってきている昨今、どちらのシーンでもコーディネート次第で着用することが出来ます。



twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539